

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	◎	百貨店（店長）	・景気動向、客の動きなどから、乗客数の増加は今後も続く。
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・2月は1番悪い時期なので、4月頃からはやや良くなってきているのではないかとみている。
	○	スーパー（総務担当）	・寒暖差のあるなかでも、来客数が増えている。
	○	コンビニ（店長）	・株価も上がってきたので、これから景気は良くなっていく。
	○	衣料品専門店（統括）	・当店の扱う商材では、祭礼用品、特に、みこし関係を多く扱っている。これから夏から秋にかけての祭りに向けて、5月頃から商材の販売量が増えていく。
	○	家電量販店（営業担当）	・官公庁関連のパソコン導入等で、一部カテゴリーでは前年比200%以上の動きがある。一方、季節商材は特に悪く、前年比72%と苦戦している。今後に関しては、夏のイベントに期待し、映像関連に注力していく。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・年末年始が好調だったように、年度末、年度始めといった節目に需要が集中する傾向が予想される。株価高騰など明るいニュースが増えていることもプラス要因となる。
	○	一般レストラン（経営者）	・少しずつ動きが出てきている。ランチが好調なので、ディナーにつながるようにすれば良くなる。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・年度替わりや春の行事等、飲み会の機会が増えてくると思うので、期待している。
	○	一般レストラン（経営者）	・春になり、イベントが増えることで、例年どおり来客数は増えると思うが、客単価がどうなるかが心配である。
	○	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・日経平均株価も3万9000円を突破し、いまだかつてないくらいの活況をみせている。そうしたことから、利益増加の企業が増えて、春闘も賃上げ方向にあり、業績見通しも良くなるとみている。
	○	都市型ホテル（経営者）	・若干客入りが戻ってきている。数字として実績が出ている。
	○	都市型ホテル（支配人）	・宿泊部門は梅祭りやスポーツ団体の予約で稼働率は確保できている。宴会部門も4月の歓送迎会や5月以降の総会等を順調に受注できている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊、宴会共に、年度末の駆け込み利用で3月以降も堅調に推移している。新型コロナウイルス感染症の5類移行後初めてのゴールデンウィークとなるため、旅行先が海外に向かないかが懸念材料ではある。調理部門の人手不足で、来年度も当面の間はレストランのディナー営業をクローズする。引き続き人材確保が喫緊の課題である。
	○	旅行代理店（経営者）	・5月頃から本格的な旅行シーズンが始まるため、やや良くなる。
	○	旅行代理店（所長）	・域内で予定されている社寺等の行事は、これまで何らかの制限下で実施してきたものが今度は通常開催を予定している。鉄道のダイヤ改正により新型車両の運行便数が増える予定もあり、季節が進むことで、東京まで来ているインバウンドの当地訪問に期待ができる。
	○	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス感染症発生前のように、卒業旅行等の学生グループの動きが活発になり、暖かい日を中心に人出が期待できそうである。
	○	ゴルフ場（従業員）	・ゴルフのハイシーズンになることに加え、株高によるプラスの影響を期待している。
	○	競輪場（職員）	・前年末から業界全体の売上が増加傾向にあり、引き続き、売上が好調を維持すると思われる。
○	美容室（経営者）	・1月からようやく同業者が一齐に値上げに踏み切った。業界全体に回るお金が増えるのは、歓迎すべきことである。	
□	商店街（代表者）	・春から夏にかけて、中心商店街で恒例のイベントが開催予定であるため、個店への客の流れにも期待したい。	
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・このところ天候不順で、夏のような日が来たり冬に戻ったりと大変だが、花が咲く季節も間近になっているため、明るさが戻ってくることを期待している。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔土産〕（経営者）	・前年から、新型コロナウイルス感染症発生前の売上に匹敵する月が続いており、この傾向は今後も維持する見込みで、周辺の同業者も同様の見解である。懸案事項としては、人手不足と海外情勢の不安定さ、能登半島地震に伴う自粛ムードがあげられる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・春のオケージョンニーズが始まっているが、大きな回復には至っていない。足元では人流の拡大等、復調の兆しがあるものの、依然として物価高など、先行き不透明な部分も多く、今後数か月は現状維持が見込まれる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・食品の一部や化粧品、婦人服の一部等で力強い動きも見られるものの、天候不順や安定しない世界情勢等が見通せないといった不安が払拭できない部分もあり、良くなるのか悪くなるのか、正直先が読みづらい難しい状況である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品部担当）	・現状を維持するのがやっとで、良くなる見通しが立たない。近隣に新たな出店予定もあり、更なる困難が待っている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・店舗前の道路工事は今年夏くらいまで続く予定である。交通規制が解除になるまでは、今の状態が続く。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・プレミアム付商品券の使用が1月で終了したため、現在は来客数が多少落ち込んでいる。今後も同じような状況が続く。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売担当）	・季節商材を扱っているが、客は外出しないスタイルが、身体に染みついている。いろいろと来店してもらうような手は打っているが、それでもなかなか動かない。こうした状況がずっと変わらないのであれば、春の温かさで街に出てきてくれることを期待するしかない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・産業界の活気は落ちているものの、当地域にある国内有数の大規模小売店が大きく増床し、3月にオープンする。地域活性化の原動力になるのではないかと期待されている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・良くなる材料は分からないが、急に悪くなる材料も同様に分からない。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	・株高や大企業の実績は良いものの、身の回りでは特に大きな変化がなく、良くも悪くもない。3か月後も大きくは変わらない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（店長）	・打開策はなく、不透明な状況が予想される。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（仕入担当）	・インバウンドによる影響がほとんどない地域では、個人消費が底上げされる要因は見当たらない。節約志向への対応やコストの削減等で当面は対応する。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新年度4月からの新規受託は順調に確保できている。ただし、入札に異業種や異業態からの参入がある等、新たな動きがみられる。また、大手の賃上げが波及して、賃金格差が広がり、1番の課題である人材確保が更に厳しくなることも懸念される。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・ゴールデンウィーク以外は落ち着くと予想している。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・案件が増加しても物価高の影響で単価は下がる可能性がある。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・仮に賃上げが実現されたとしても、その効果はまずは生活必需品へ波及し、レジャー産業への恩恵はその後になるため、変わらない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染症発生前のようにはならない。時代が変わったと思っている。
<input type="checkbox"/>	タクシー（経営者）	・昼の動きは良いものの、夜の動きが良くないので、この先も変わらない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（社員）	・2～3か月先は現在と変わらない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・株価上昇やインバウンド需要の良さは、高所得者や関係事業には好影響だが、ボリュームゾーンである中間層は恩恵を受けていないため、変わらない。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ練習場（経営者）	・依然として、消費より貯蓄にお金が回っている。
<input type="checkbox"/>	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・来店客の個人事業主や中小規模事業者の景況感、四苦八苦を語るのみで改善の兆しはない。地方と中央では大違いである。

	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	・人件費を上げる動きが活発化しているものの、中小企業には厳しい状況で、売上や収益が上がらない限り、実現できない。全体的な不動産取引の動きは、鈍い状況が続く予想である。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	・いまだに売り物件が増えている。店舗等閉鎖の看板もかなり目立ってきている。人の流れもこのところ余り芳しくない。
	<input type="checkbox"/>	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・建築資材の高止まりは続く。所得の向上が進まないと様々な案件が前に進まないとみている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他専門店（総務担当）	・見積件数が減少しており、やや悪くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	通信会社（総務担当）	・販売価格の上昇と新商品発売前の買い控えから、販売低迷が予想される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	通信会社（局長）	・物価の上昇も高止まりしているようにみえるが、今の円安等が更に進めば、再び物価が上がる可能性もある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・確定申告の時期だが、政治資金問題は国民不在の政治を露呈した感がある。国民は生活をどうするかで毎日苦慮している。
	<input type="checkbox"/>	一般小売店〔家電〕（経営者）	・実質賃金さがり続けるなか、賃上げという話がよく出ているが、その恩恵を受けられるのは一部の大企業並びに公務員だけだとみている。一般消費者には全く関係のない増税ばかりが待っている状況では、物も売れない。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・賃金の上昇等があれば、購買マインドも上昇するかもしれない。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・物価ばかりがやたらと上がり続けているため、悪くなる。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（経営者）	・日経平均株価は史上最高値で盛り上がっているが、実体経済はかなり悪い。円安で仕入価格高騰が続き、大手メーカーのように2度3度と値上げはできない。利益率は悪くなる上に、販売量が激減している。当地は高齢の客が多いため、物価高騰による先行き不安から、財布のひもはかなり固い。ここ最近、都市部と地方の景気のギャップが、どんどん開いているように思える。
企業 動向 関連  (北関東)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	・品質問題や労災問題で止まっていた自動車組立ラインは、本格稼働が見込まれており、現状よりは上向き見込みである。ロボット関連の仕事量の回復はまだしばらく先になりそうである。
	<input type="checkbox"/>	金融業（営業担当）	・人材確保や人件費の高騰への対応もあるが、一部業種を除き、事業活動が活発化している。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、商談件数、受注残高いずれも増加傾向にあり、マインドが良くなっている。
	<input type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・引き続き、年度内は順調に推移する。
	<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	・親会社から受注単価を上げてもらえた会社は良いが、上げてもらえないところの経営はますます厳しく大変になる。
	<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	・受注元の生産計画からみて先行きは変わらない。
	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先50社中の3～4社に明るい兆しがみえてきたが、全体的な売上等を考えると、変わらず厳しいままではないか。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・新年度で、かなり良い計画が出てくると思っていたが、全く芳しくなく、ずるずると変わらない感じである。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先の製品の来期計画をみると、ほぼ横ばいで推移するため、変わらない。
	<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先や機械工具の様子も余り良くない。軒並み受注量、販売量等が増えているというような話は余り聞かない。
	<input type="checkbox"/>	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・物価高の状況なども、いまだに続いているためである。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（営業担当）	・新年度、新生活、年度替わりを前に、白物家電、生活雑貨、寝具や引っ越し依頼等は、前年並みの仕事量を確保する予定である。ただし、関東以外の長距離便や月末、年度替わりによる荷物の集中により車両不足が発生し、手配に苦勞しそうである。

	□	経営コンサルタント	・今春の大手企業の賃上げが大きければ、中小企業にも賃上げの動きが波及するだろうが、このことが中小企業の存廃の引き金になる。株価の順調な上昇により、消費経済は雰囲気的に上向くものの、様子見で勢いは強くないとみている。
	□	司法書士	・今月並みの少し良いくらいで推移していくのではないかと。
	□	社会保険労務士	・春に賃上げがあっても物価上昇の後追いなので、消費がそれほど盛り上がると思わない。
	▲	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・元々、2月から4月は減産の予定ではあったものの、別の理由で主要取引先が生産を見合わせているため、従業員を休ませて調整している。稼働停止日の受注分の生産予定はないとのことで、予定していた減産による収益減少よりも更に収益が悪化する恐れがある。
	×	建設業 (開発担当)	・受注額が10%減少しており、決算が心配である。
	×	建設業 (総務担当)	・工事量がとにかく足りておらず、先行きは不安である。このままでは厳しい。
	×	不動産業 (管理担当)	・事務所ビルのテナントの退去が決まっており、空室への入居予定もないため、賃貸収入が減少する。従業員給与のベースアップを検討しており、物品の価格高騰も含めて経費の増加が今後も続く。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社 (経営者)	・小学校、中学校、高校、大学の卒業、入学を控えて、衣料品、その他学用品、記念品、贈答品等で購買の動きが出てくる頃である。天候次第で変わってくるのは、住宅関連である。半導体関連はテレビ等での報道もあり、動きは出てくる。自動車関連は新車の生産が増えてくるとみている。
	○	学校 [専門学校] (副校長)	・求人数が多くなっていることや株価が大きく上昇していることを考えると、今後しばらくは景気が上向きに進んでいくとみられる。
	□	人材派遣会社 (社員)	・繁忙期に入り、求人依頼数と求職者数共に、増加が見込まれる。特段例年と大きな変化はないが、物価高騰による料金改定について、中小企業の顧客の反応は厳しい結果となっている。
	□	人材派遣会社 (管理担当)	・サービス関連の派遣は増えているが、製造関連の派遣は減っているため、全体的には変わらない。
	□	人材派遣会社 (従業員)	・人材の派遣依頼がない状況は変わらない。
	□	職業安定所 (職員)	・主な産業の新規求人数の前年同月比について、医療、福祉分野は増加傾向で推移しているものの、建設業や製造業では、減少と増加を繰り返しているため、変わらない。
	▲	—	—
	×	—	—